

本校は、県教委の指定を受け、平成24年～26年の3年間にわたって、特別支援教育に関する研究を実施しています。特別な支援を要する生徒の指導について、すべての高等学校の参考にさせていただけるような研究にしようと職員一同頑張っています。

研究の概要（下記は、5月に県教委報告しましたが、実態にあわせ一部内容改正したものを掲載しています。）

研究のタイトル	<p>校内における特別支援教育体制の取り組み</p> <p>～強く生き抜く力を育む土壌づくり～</p>
<p>研究の目的・目標</p> <p>本校では、特別支援教育推進委員会を中心として、「校内における特別支援教育の体制づくり」のありかたについて研究する。個別の支援を要する生徒だけでなく、なんらかの配慮を要する生徒を含め、すべての生徒が安心した学校生活を送ることができるように、入学時の中学校連携から卒業後の進路先連携にいたるまで、よりよい支援体制づくりを目指して研究していく。</p> <p>特別支援教育研究会1（グループ1）は「わかりやすい授業と環境づくり」、特別支援教育研究会2（グループ2）は「進路実現を目指した教育支援の研究」、特別支援教育研究会（グループ）3は「事例から学ぶ支援の在り方」というテーマを設け、実践・研究している。</p> <p>委員会ならびに各グループ研究の産物（事例フローチャート、年間計画、マニュアル等）は、県下のすべての高等学校でも活用していただけるように、汎用的視点を携えながら改善を図りたい。</p> <p>研究の内容</p> <p>各グループの取り組みは、最終的には、ユニバーサル（汎用的、標準的）なものであることが望まれ、新着任の先生を含む全職員、講師の先生、特別支援教育支援員、スクールカウンセラー、保護者等、関係する全員が、統一的かつ協力的に取り組んでいけるようなものにまで高めていくことが望まれる。</p> <p>最終年度は、年間計画、実施要領、運用マニュアル等、グループの成果を集約・整理し、必要な部分ではフローチャート化するなどして、高校における特別支援教育のありかたについて、体系化を図りたい。</p> <p>(1) わかりやすい授業と環境づくり</p> <p>テーマ「だれもが学びやすい学校環境づくり」</p> <ol style="list-style-type: none"> ①長崎県立鹿町工業高校等の研究成果を実践し、検証する。 ②平成24年度生徒アンケートの結果を受け、生徒にとって過ごしやすい環境整備を行う。 ③教科の特性に応じた、授業の仕方（板書、指示、教材など）などを検討、実践する。 <p>(2) 就職・進学実現を目指したコミュニケーション能力を育成プログラムの作成</p> <p>テーマ「進路実現を目指した教育支援の研究」</p> <ol style="list-style-type: none"> ①進路実現を目指したコミュニケーション能力を育成する。 （平成25年度より、コミュニケーション向上のための演習（communicaton skill exercise）を実施） ②過去に支援を必要とした生徒の進路における事例研究を行う。 ③ハローワークとの連携をはかる。 <p>(3) 外部との連携・事例紹介・個別の教育支援計画</p> <p>テーマ「事例から学ぶ支援のあり方」</p> <ol style="list-style-type: none"> ①平成24年度事例に関する職員アンケートを受け、事例集やフローチャートをつくる。 ②先進校・専門機関への訪問や、先進校・専門機関からの招へいによる研修を実施する。 ③個別の教育支援計画／個別の指導計画の運用改善をはかる。→ フローチャートの作成 	